

2015年3月期第2四半期決算説明資料

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2014年11月28日

目次

■ 決算ハイライト

■ 業務上の特徴

I. 業務基盤の特徴

II. 新業務基盤への対応状況

■ “Ambitious 5”の進捗

■ “Ambitious 5”, 2nd Stage ー大変化の時代への対応ー

※この資料で使用する数字は、特に記載のない限り、連結に関する数字を使用しております。

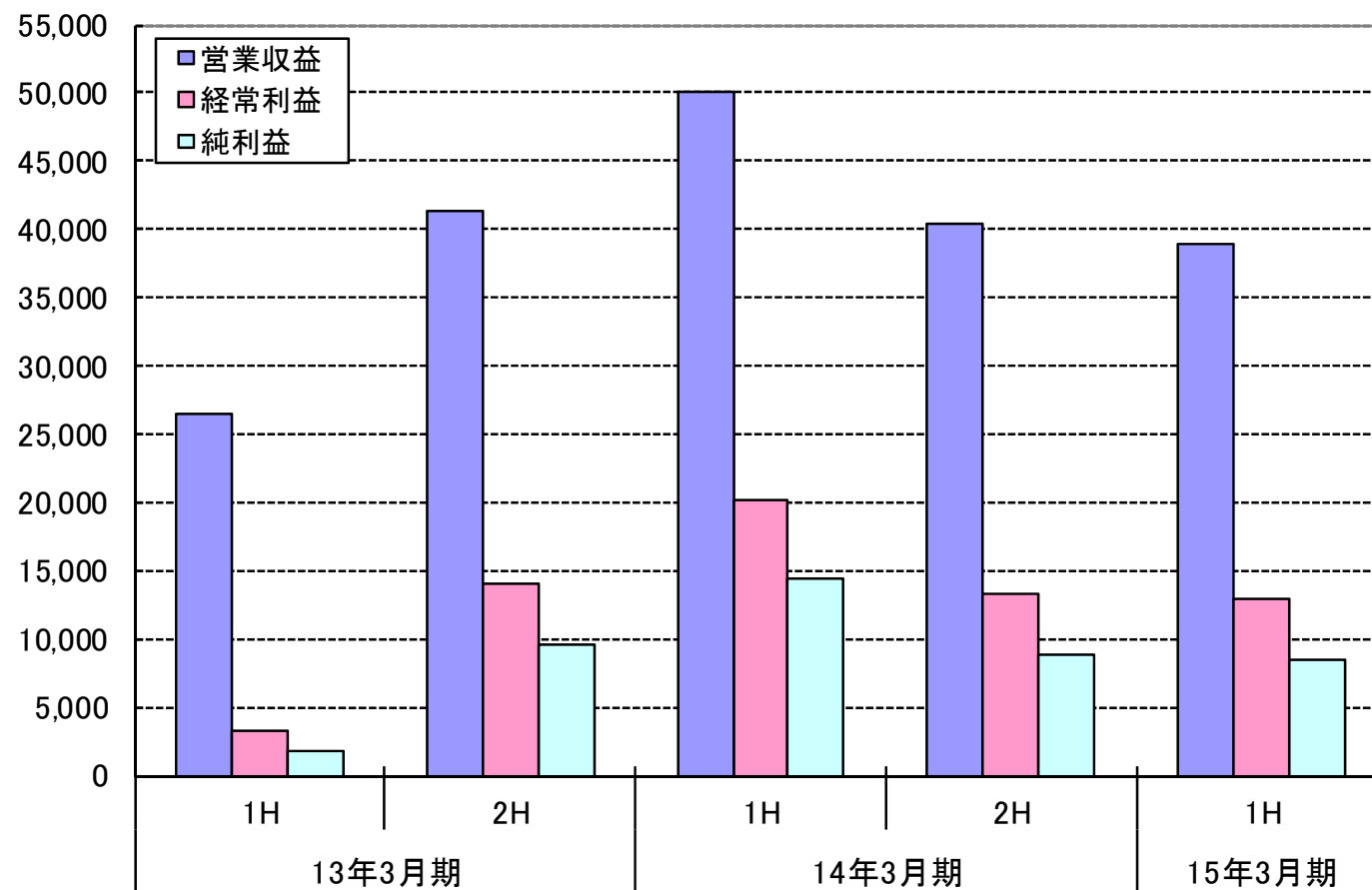
決算ハイライト

決算ハイライト

決算概況(連結)

2015年3月期上半期

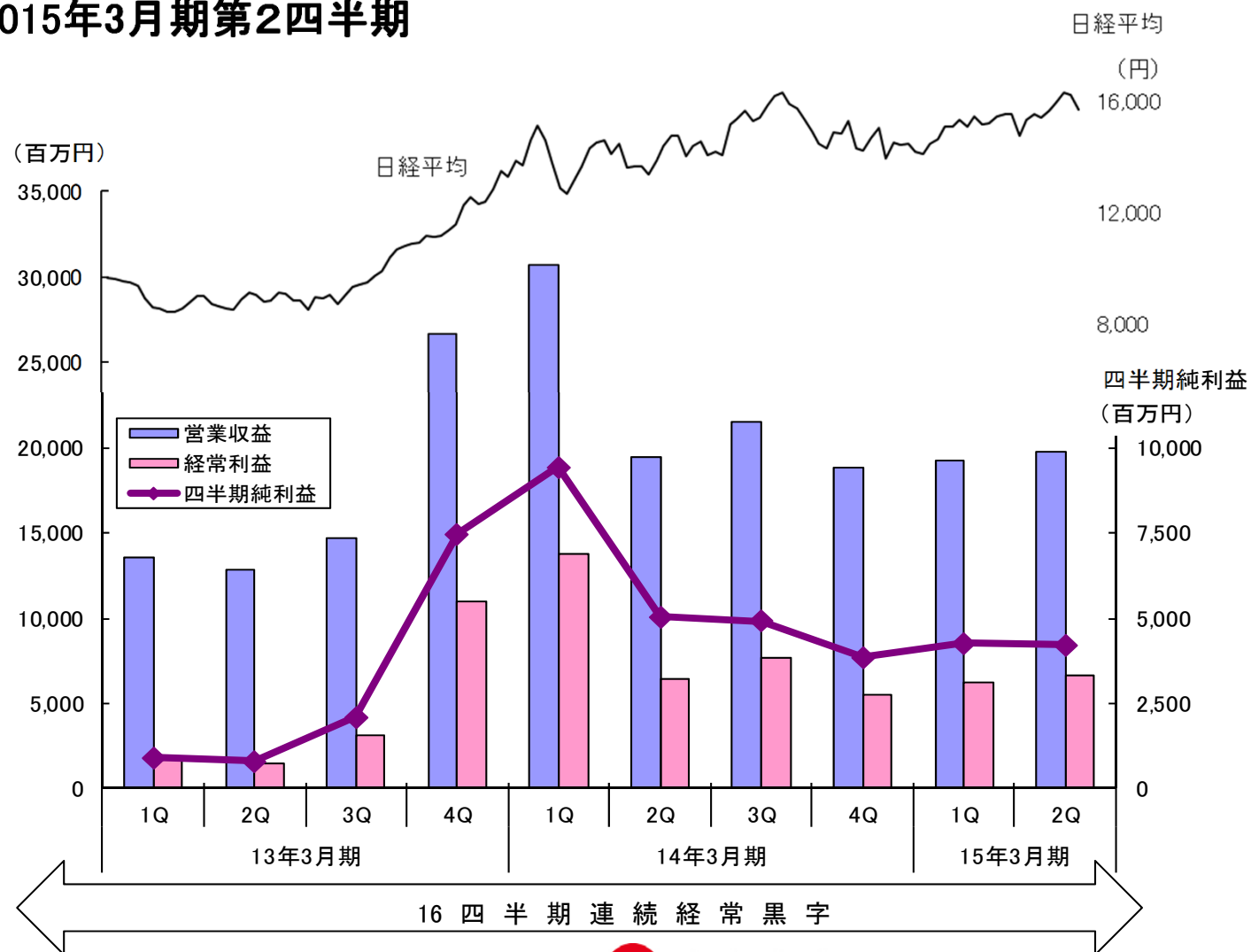
(百万円)



決算ハイライト

四半期決算概況(連結)

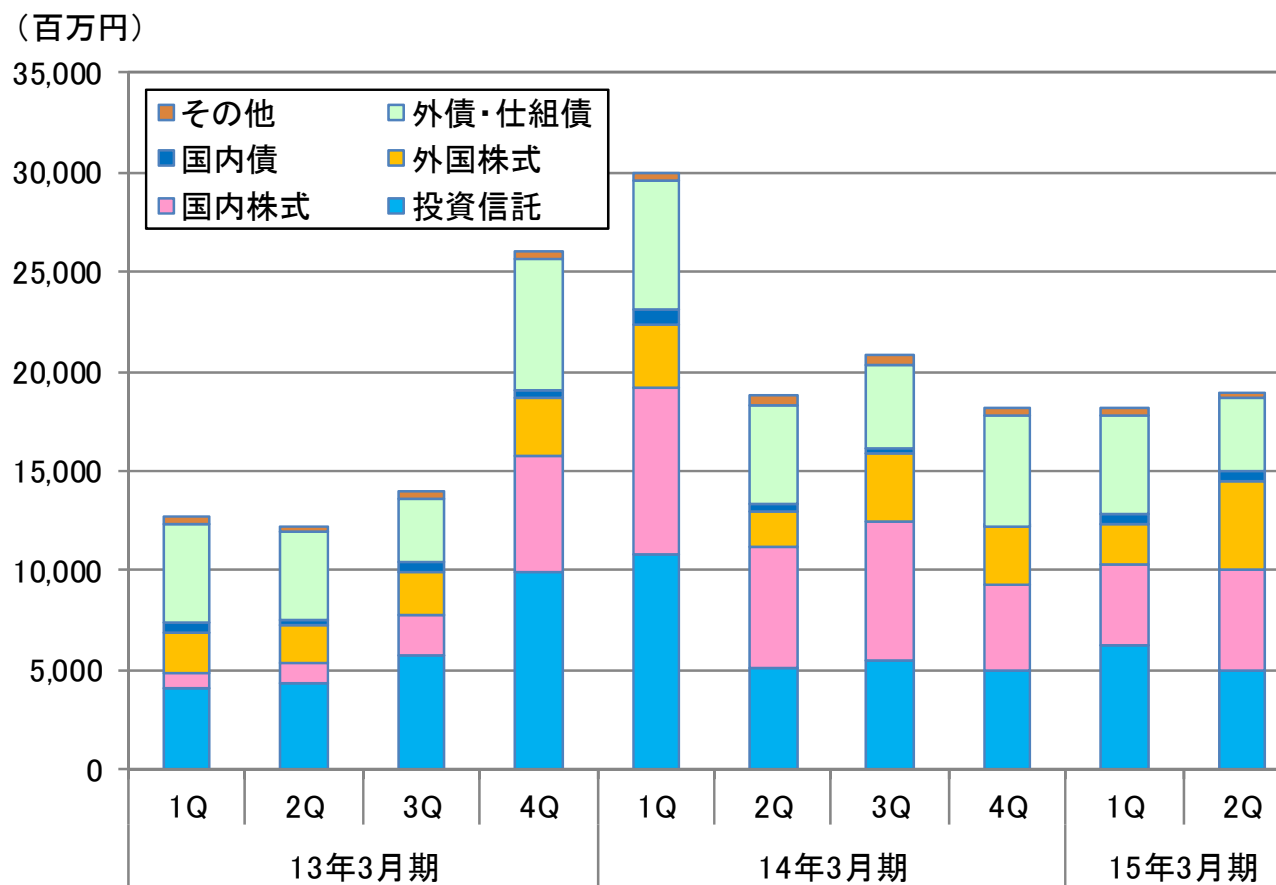
2015年3月期第2四半期



決算ハイライト

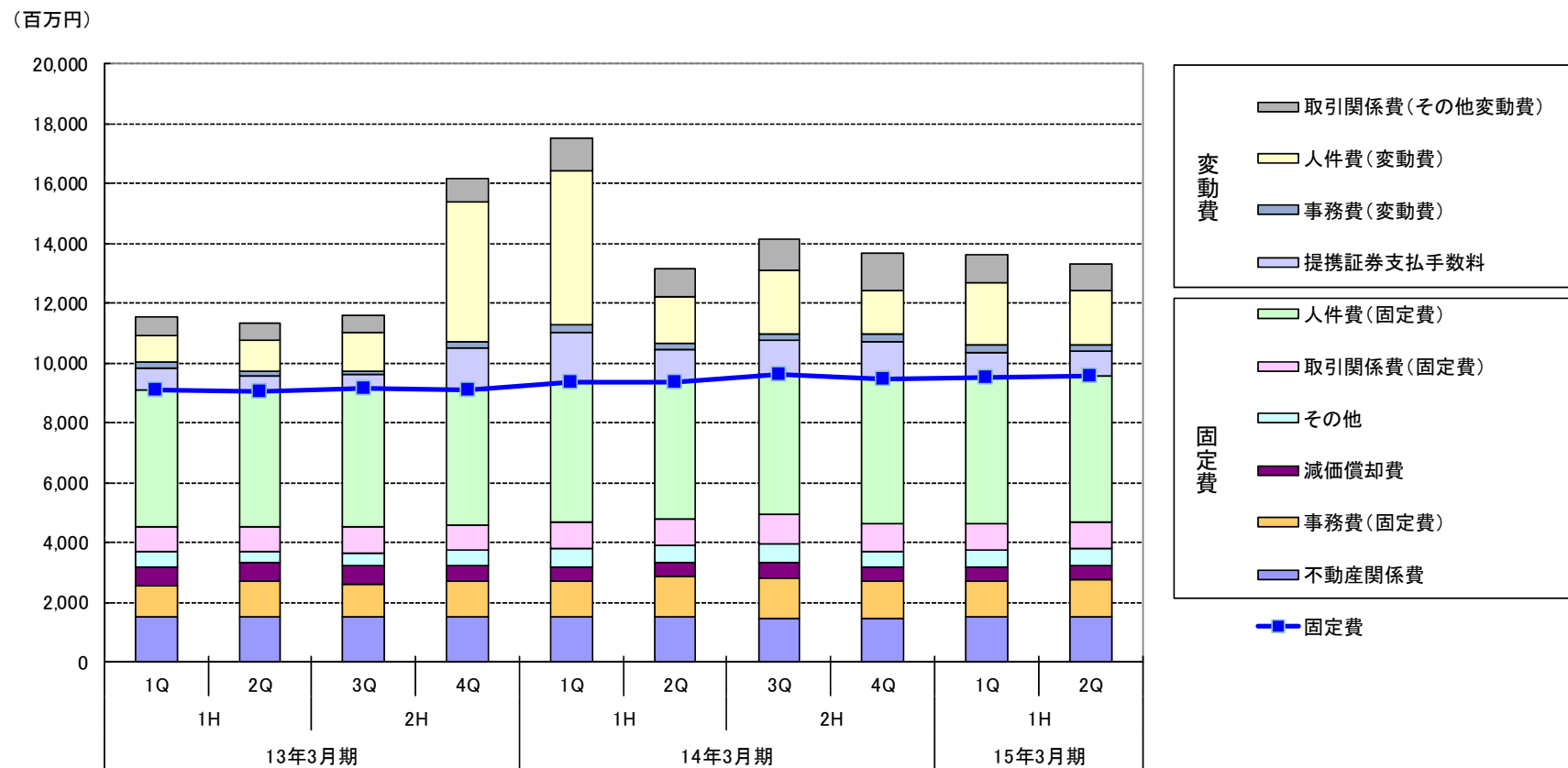
受入手数料及びトレーディング損益(連結)

商品別内訳推移



決算ハイライト

経費の推移

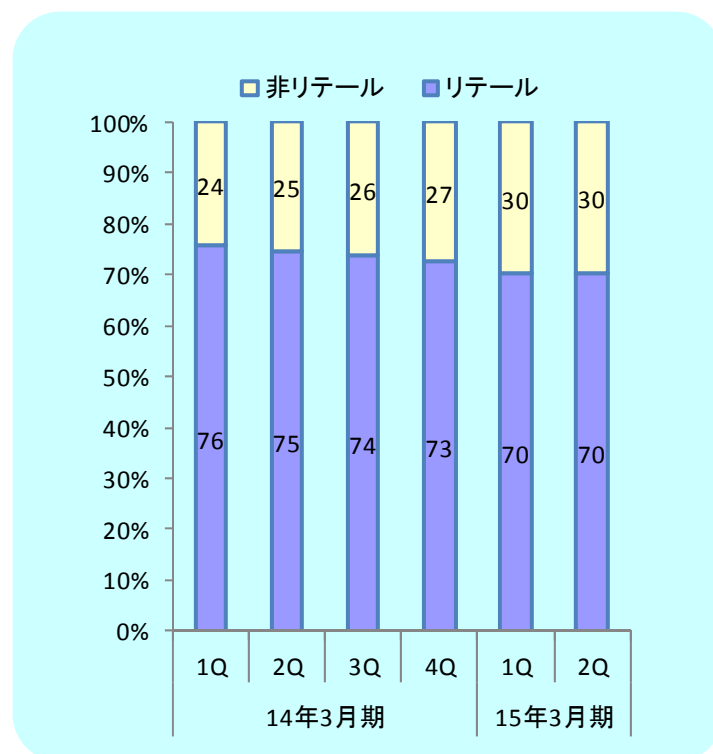


業務上の特徴

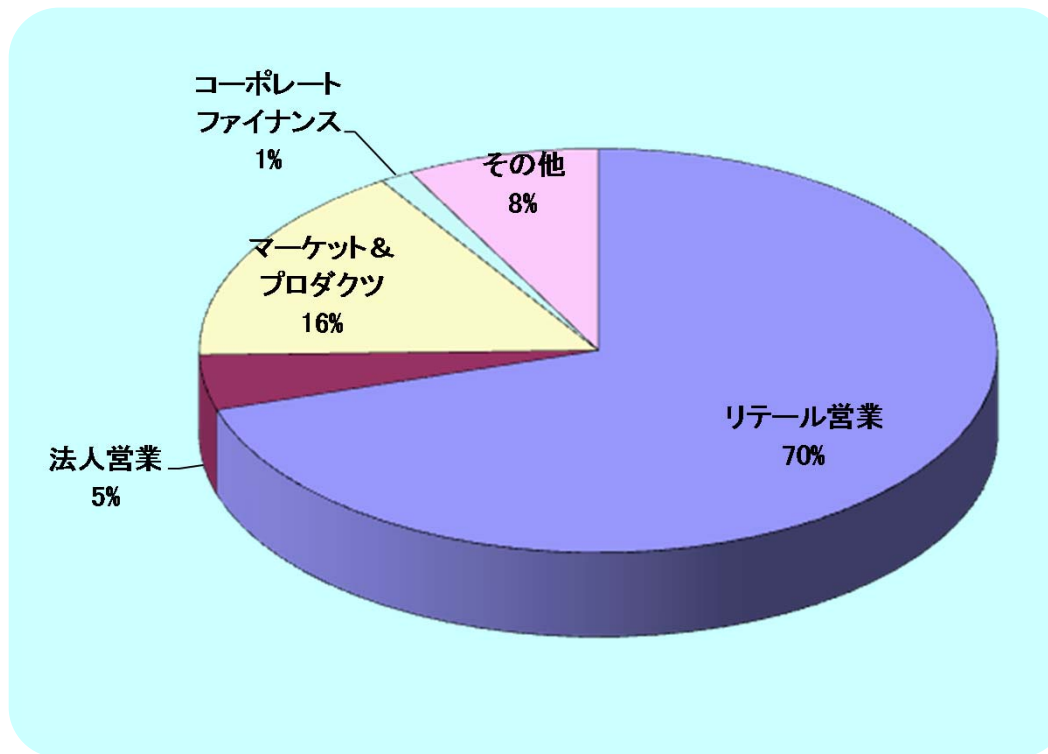
I. 業務基盤の特徴

ビジネスセグメント別概況

■ 収入内訳



■ 収入内訳(15年3月期上期)



※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

※14年3月期1Qより以下の基準に基づき作成

リテール営業＝中部地域本部・東日本地域本部・西日本地域本部・ウェルスマネジメント本部のリテール営業及びダイレクトチャネル本部

法人営業＝中部地域本部・東日本地域本部・西日本地域本部・ウェルスマネジメント本部の法人営業

機関投資家営業＝マーケット営業推進本部のインスティテュショナル・カスタマー部門

マーケット＆プロダクツ＝マーケット営業推進本部のマーケット部門及びプロダクツ部門

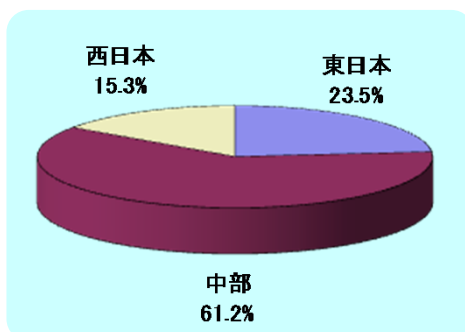
コーポレートファイナンス＝企業金融本部

I. 業務基盤の特徴

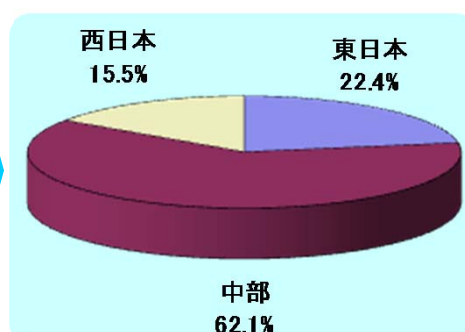
地域別収入及び預かり資産(リテール)

■ 地域別収入

14年3月期



15年3月期上期

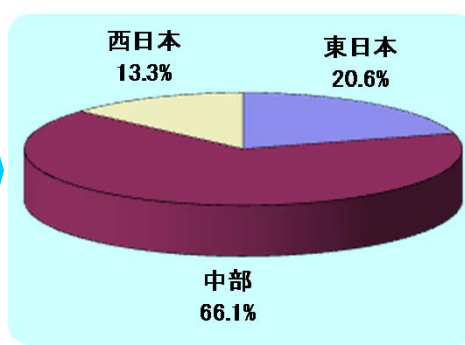


■ 地域別預かり資産

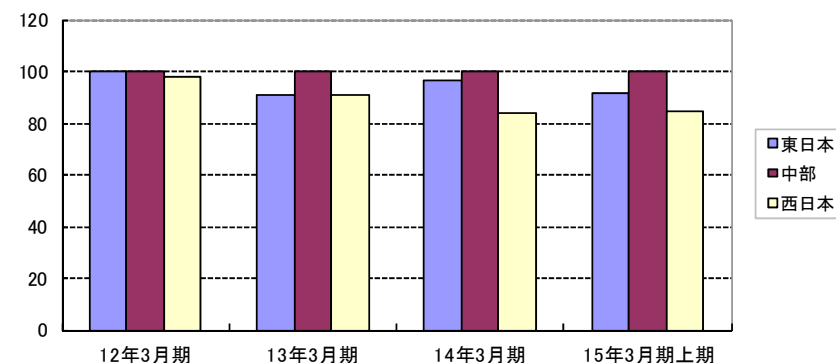
14年3月期



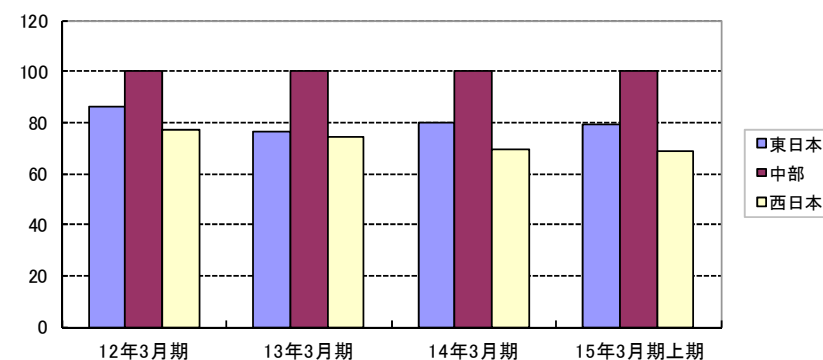
15年3月期上期



営業員一人当たり収入



営業員一人当たり預かり資産



※中部を100とする指数

※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値(非対面チャネルを除く)

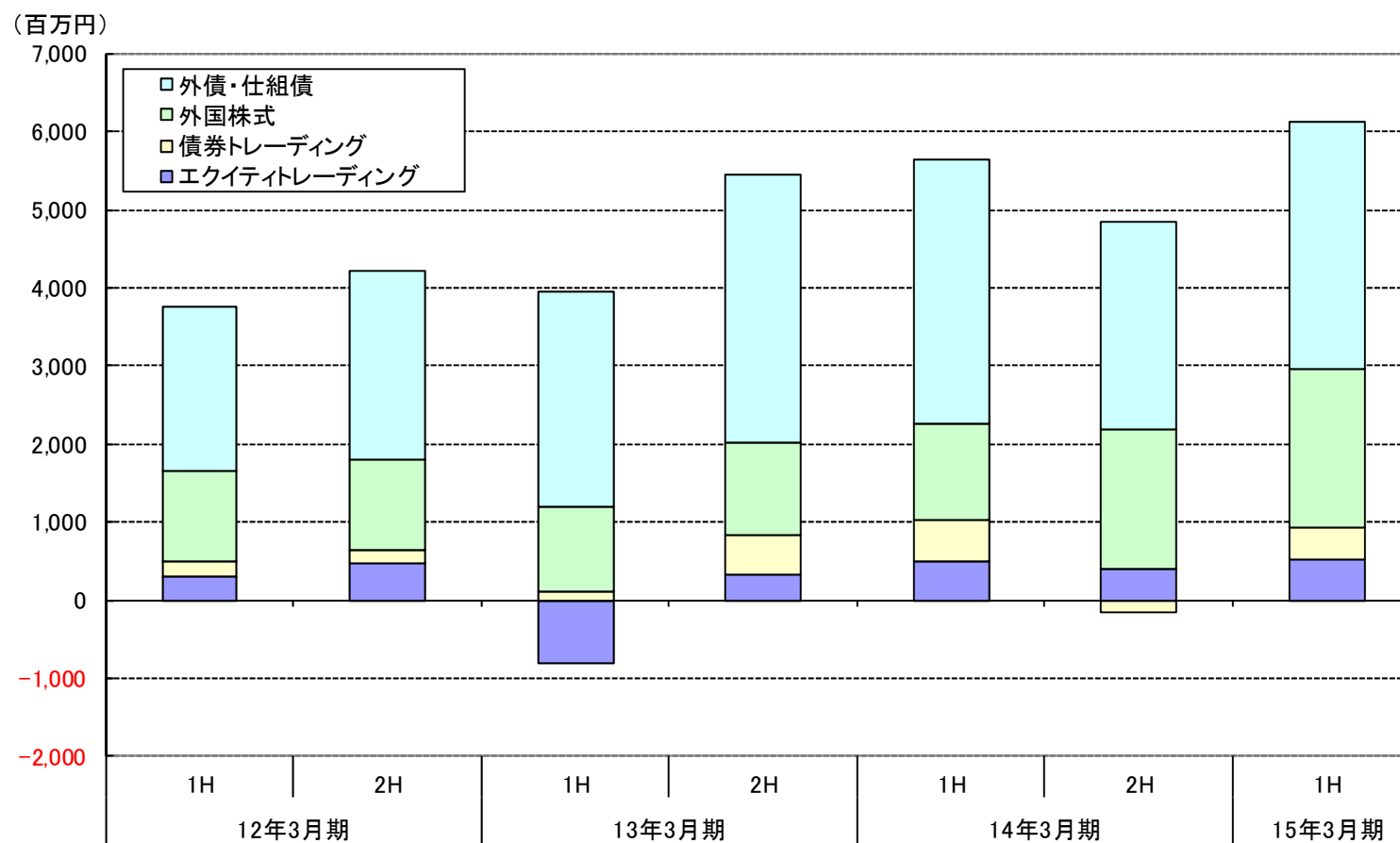


東海東京フィナンシャル・ホールディングス

I. 業務基盤の特徴

マーケット＆プロダクツ

■ マーケット＆プロダクツ収入推移

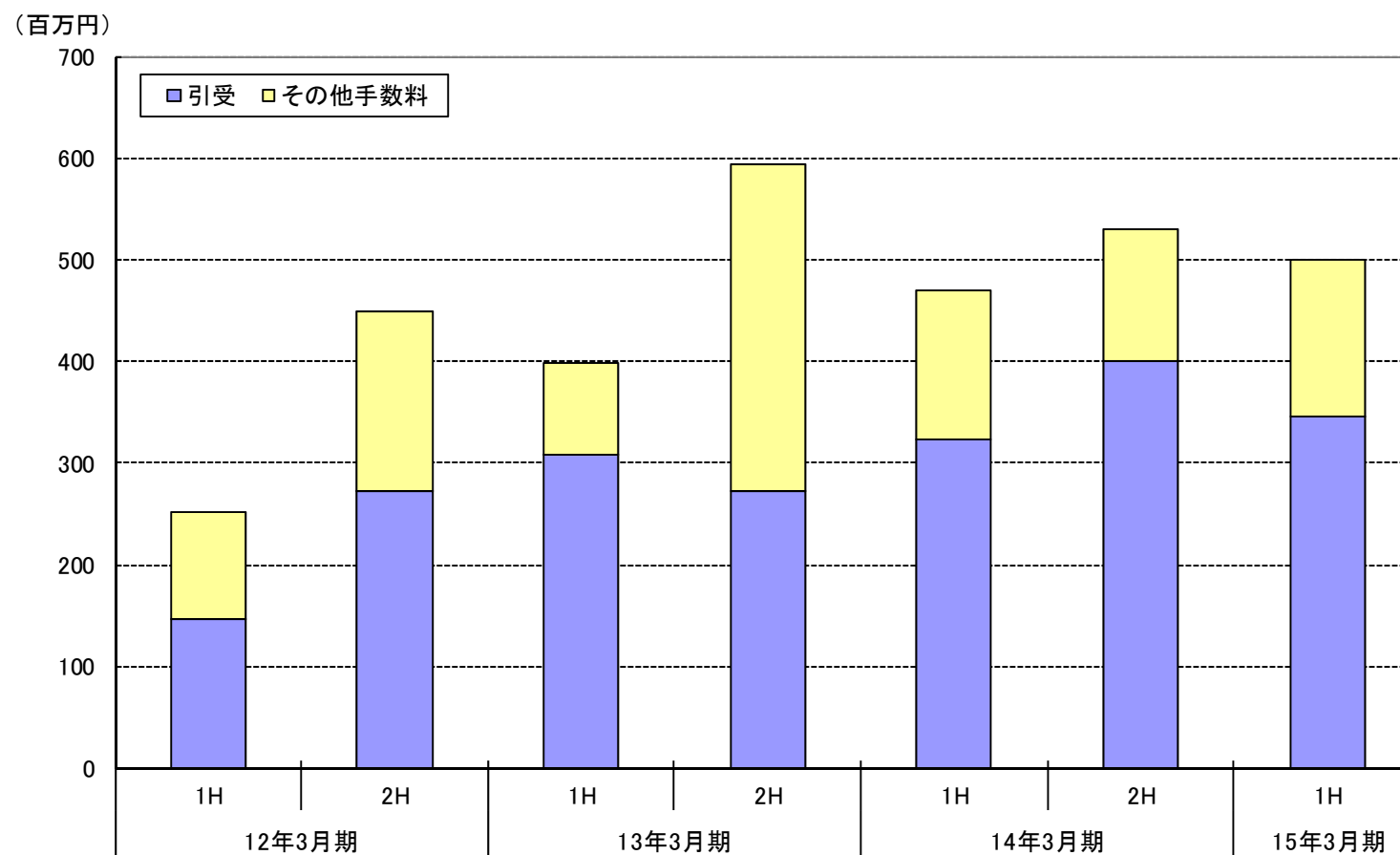


※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

I. 業務基盤の特徴

コーポレートファイナンス

■ コーポレートファイナンス収入推移

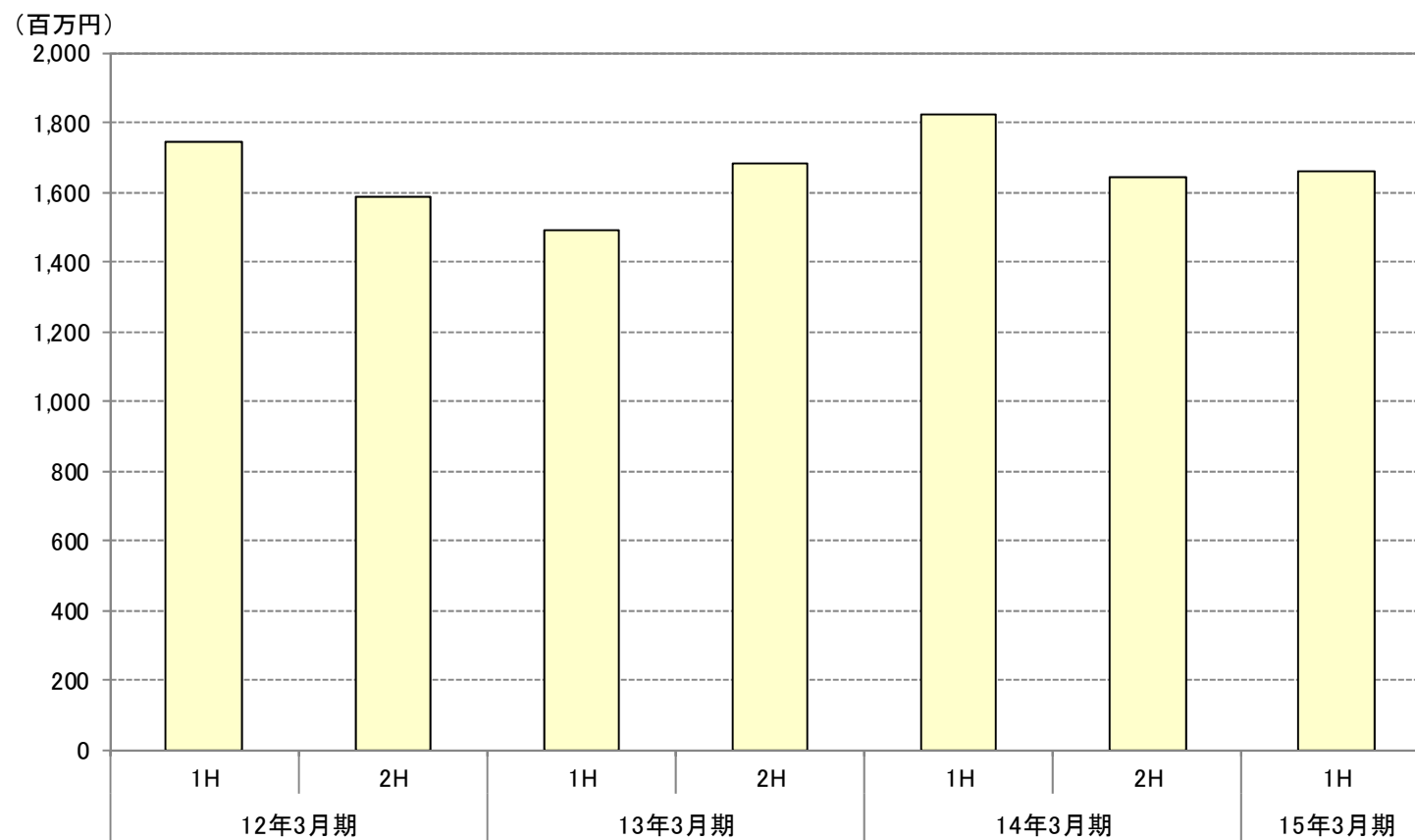


※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

I. 業務基盤の特徴

法人営業本部

■ 法人営業本部収入推移

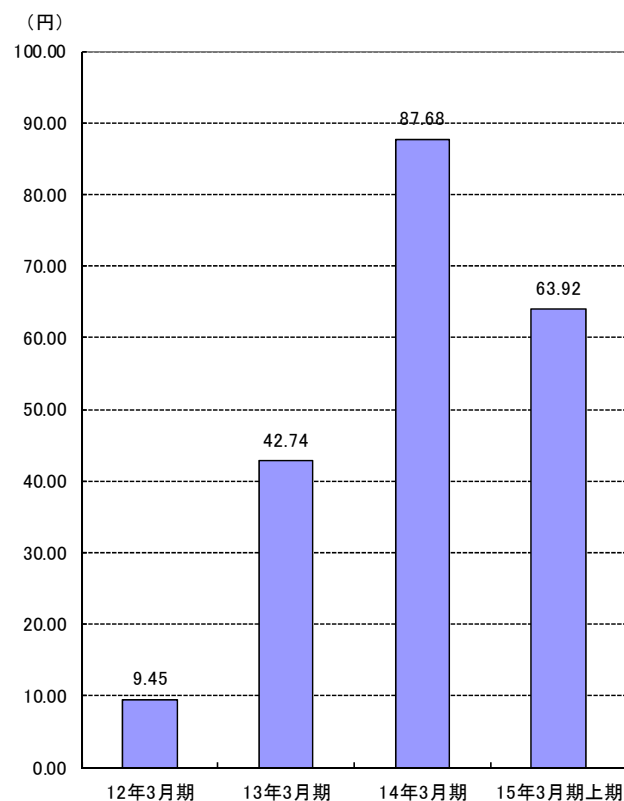


※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値
13年3月期以降、法人営業本部＝旧3地域法人戦力＋機関投資家営業部

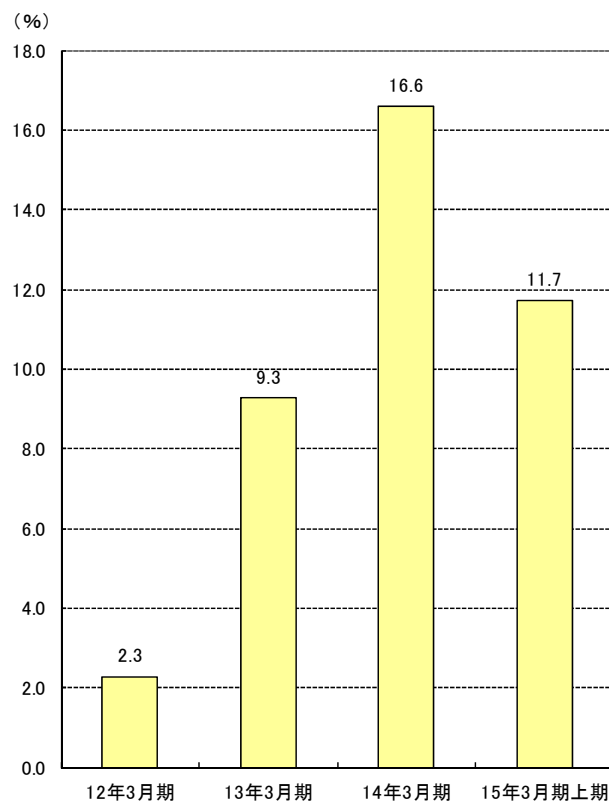
I. 業務基盤の特徴

1株当たり利益(EPS)、株主資本利益率(ROE)及び配当利回り

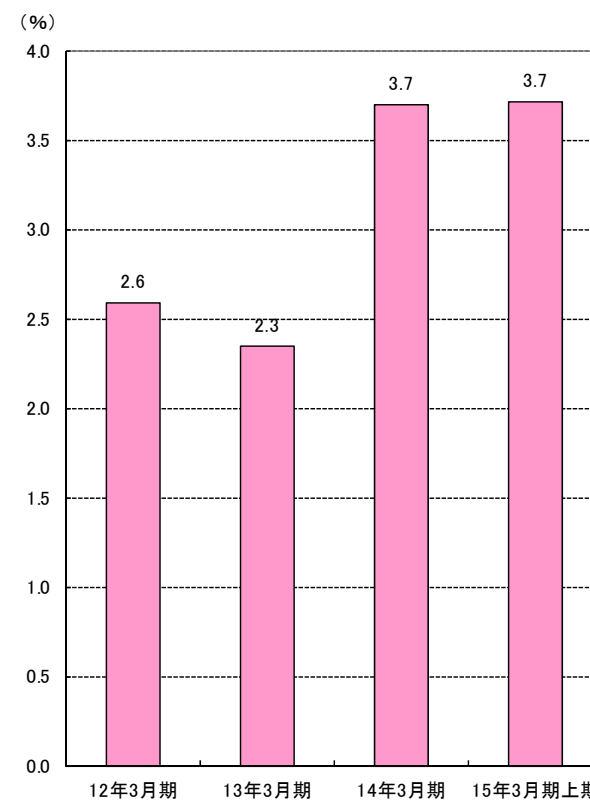
EPS



ROE



配当利回り



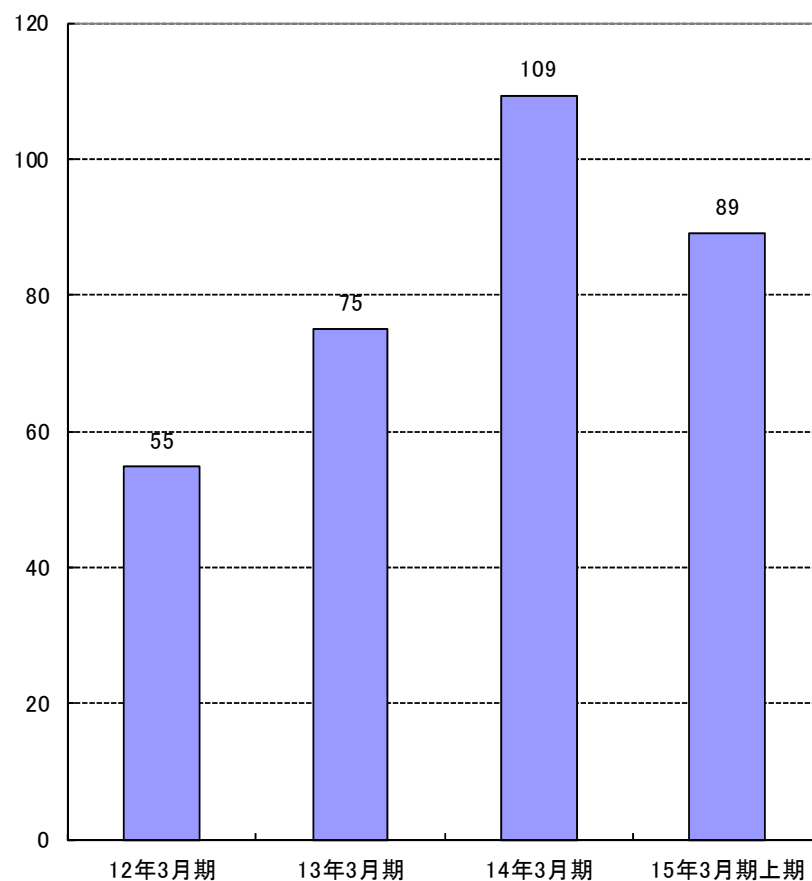
※15年3月期上期は年率換算

I. 業務基盤の特徴

営業員一人当たり収益及びROA

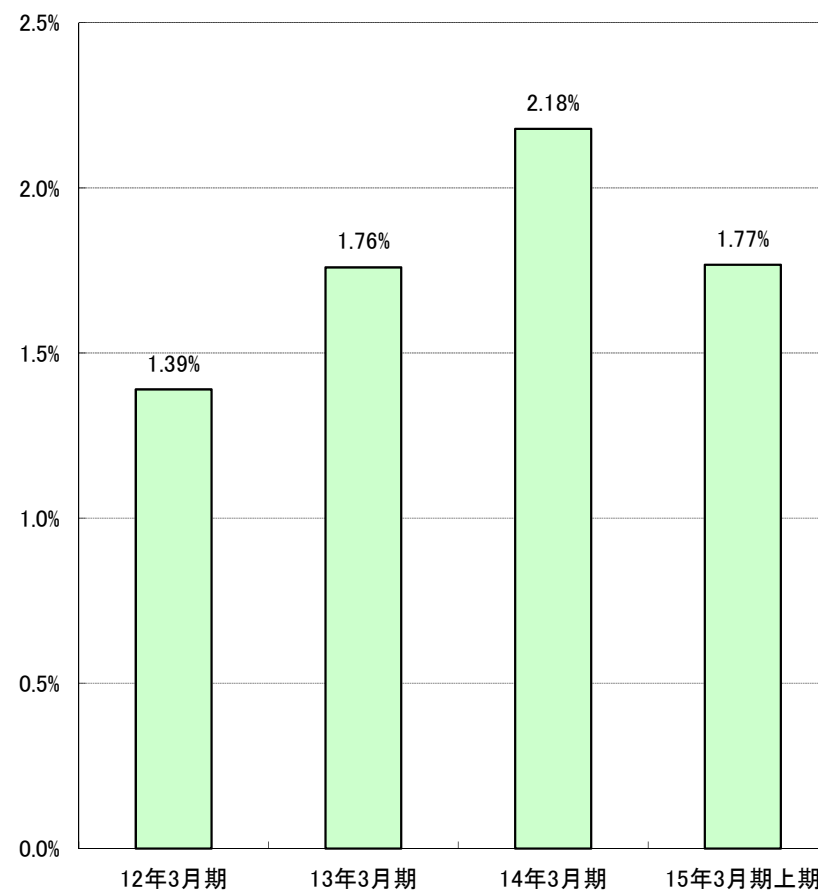
営業員一人当たり収益

(百万円)



※15年3月期上期は年率換算
※営業員数は期首・期末平均

収益／預かり資産

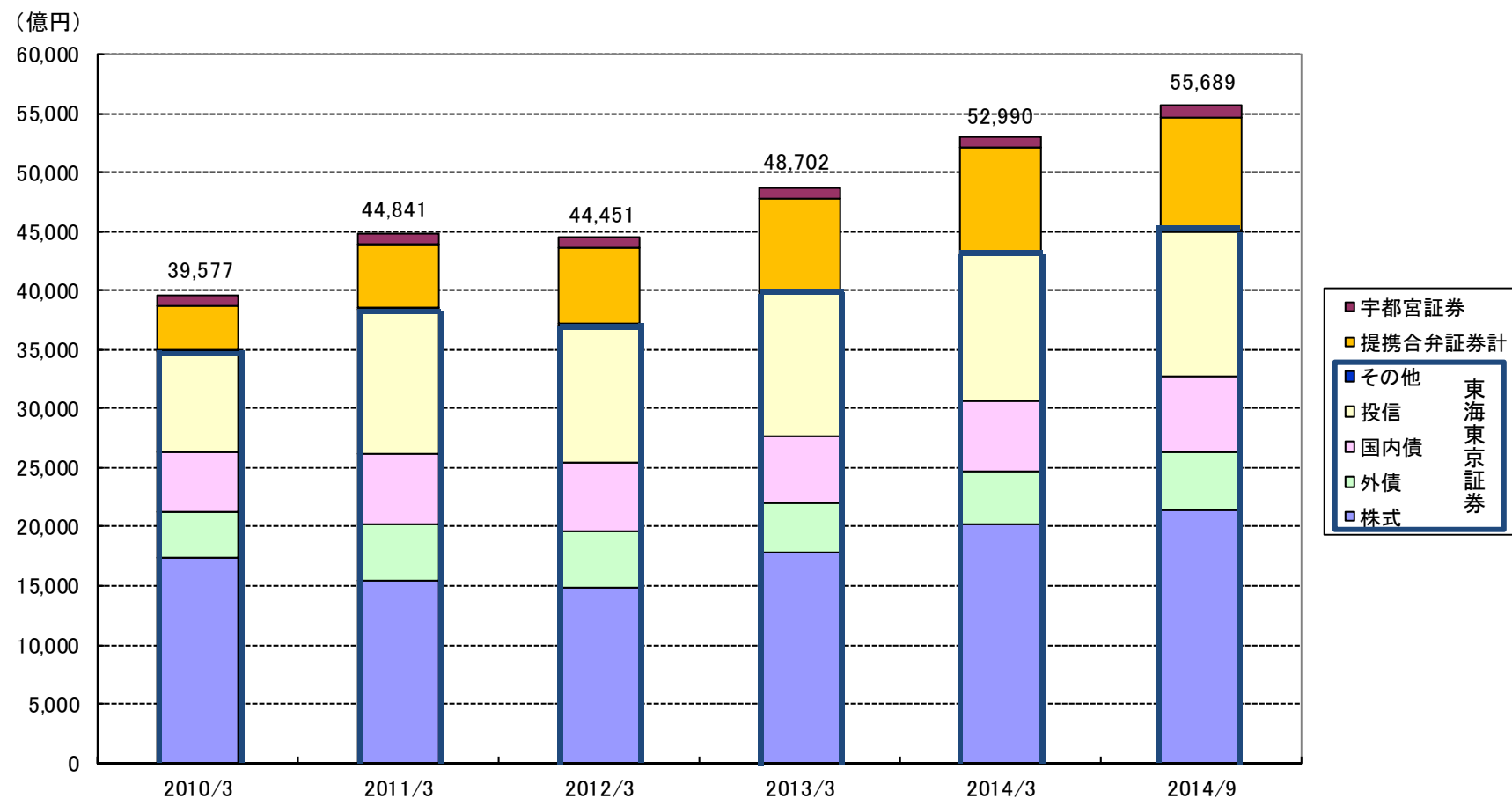


※15年3月期上期は年率換算
※預かり資産は期首・期末平均



I. 業務基盤の特徴

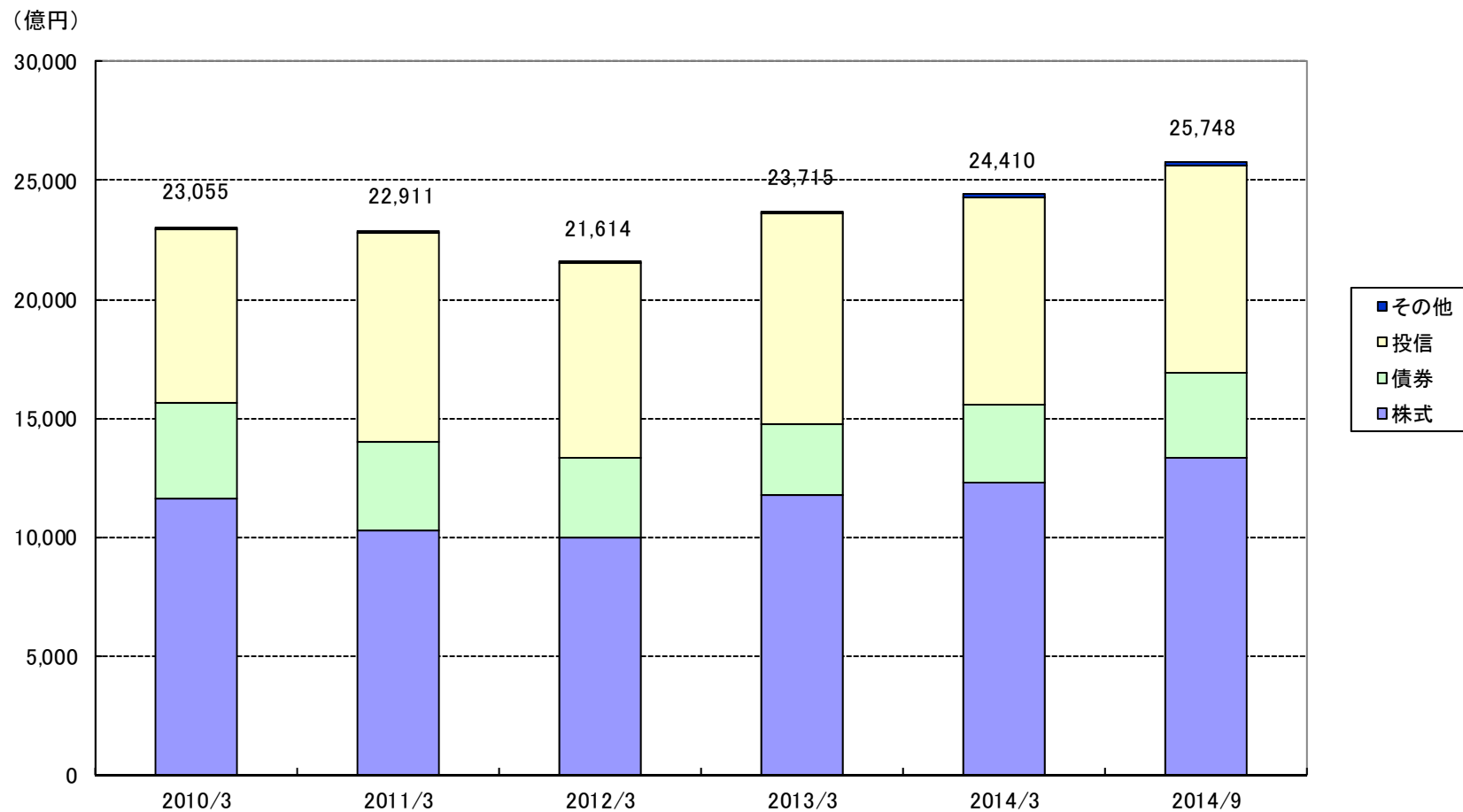
預かり資産



※提携合併証券＝ワイエム証券・浜銀TT証券・西日本シティTT証券・池田泉州TT証券(いずれも持分法適用会社)

I. 業務基盤の特徴

預かり資産(東海東京証券リテール)



I. 業務基盤の特徴

入出金・入出庫(個人)



※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

Ⅱ. 新業務基盤への対応状況

(a) 顧客重視のマーケティング

顧客採算重視

カスタマー
ロイヤルティ向上

高齢者取引対応

個人評価制度見直し

(b) 持続可能な経営モデル (Sustainability)

安定収益の確保

ラップ口座
安定収益商品

預り資産対応

富裕層対応
次世代対応

提携合併証券
取引の拡大

(c) 財務戦略の実現

財務戦略の高度化

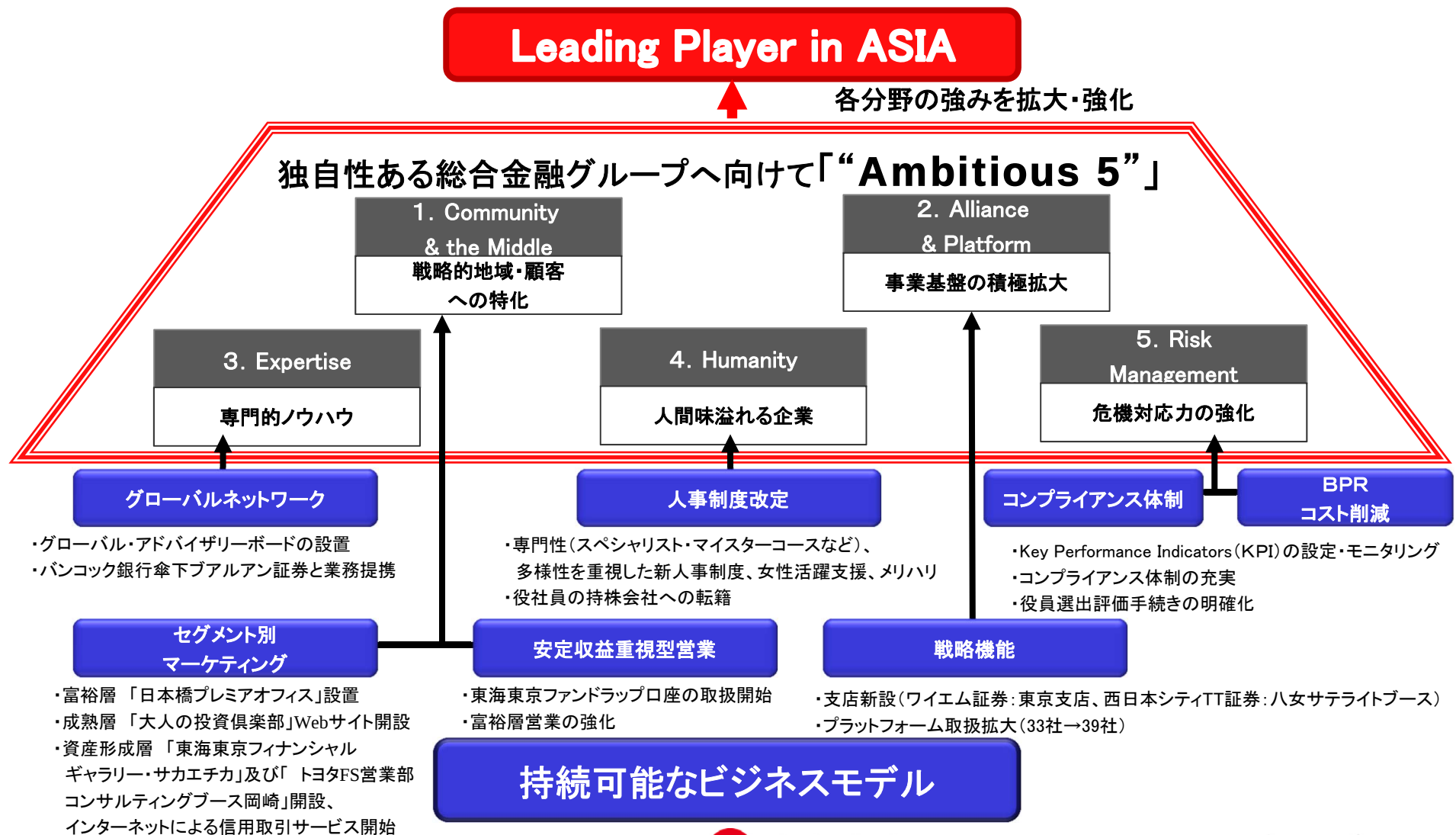
戦略的投資

KPIの
設定・モニタリング

“Ambitious 5”の進捗

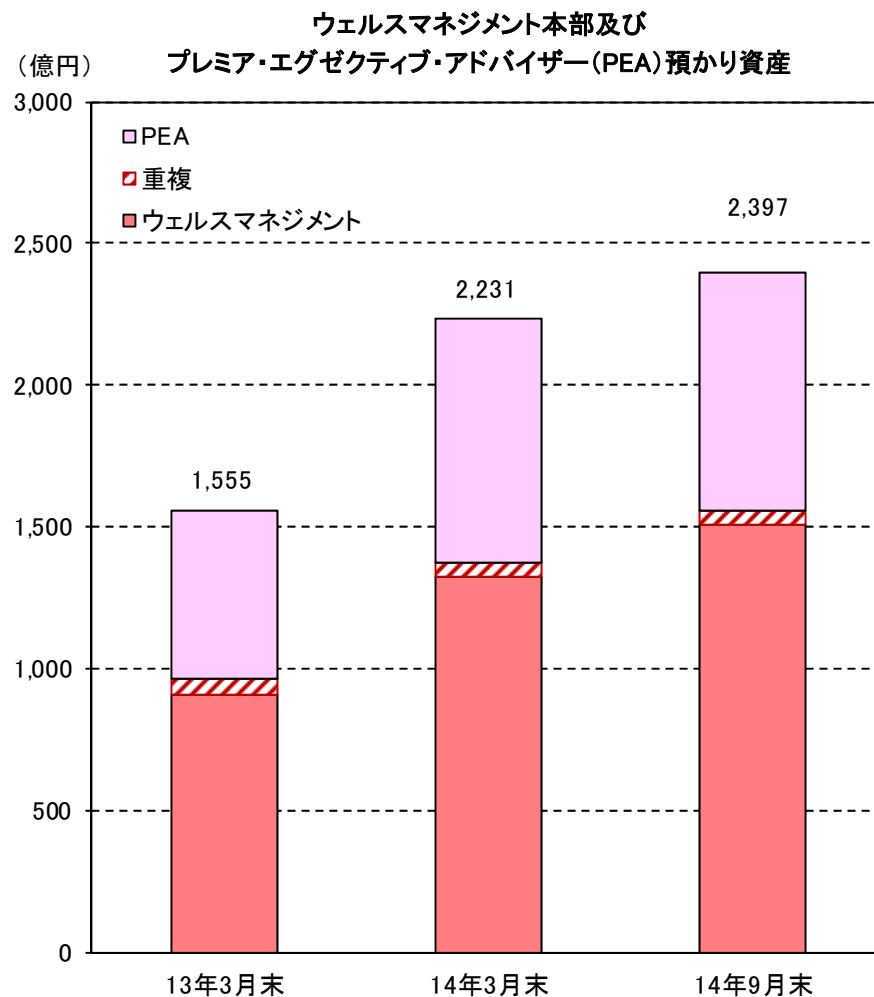
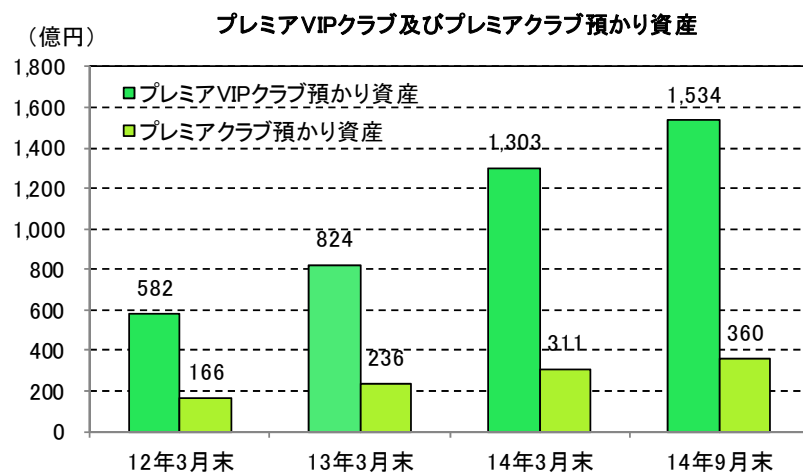
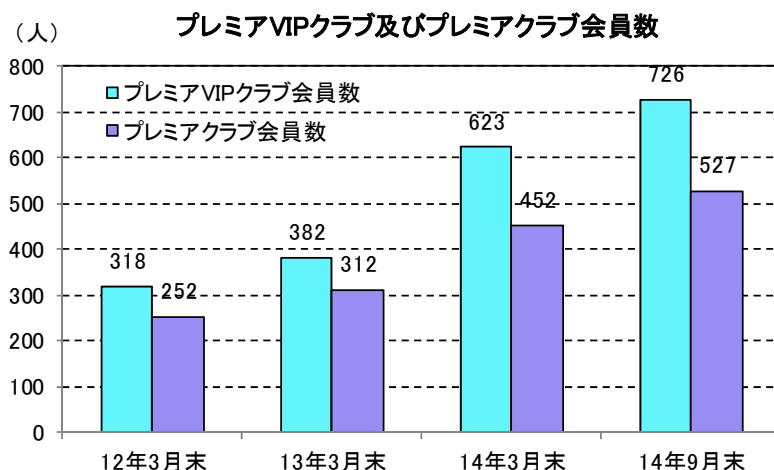
“Ambitious 5”の進捗

2nd Stage 最初の半期(2014年4月～9月)の進捗



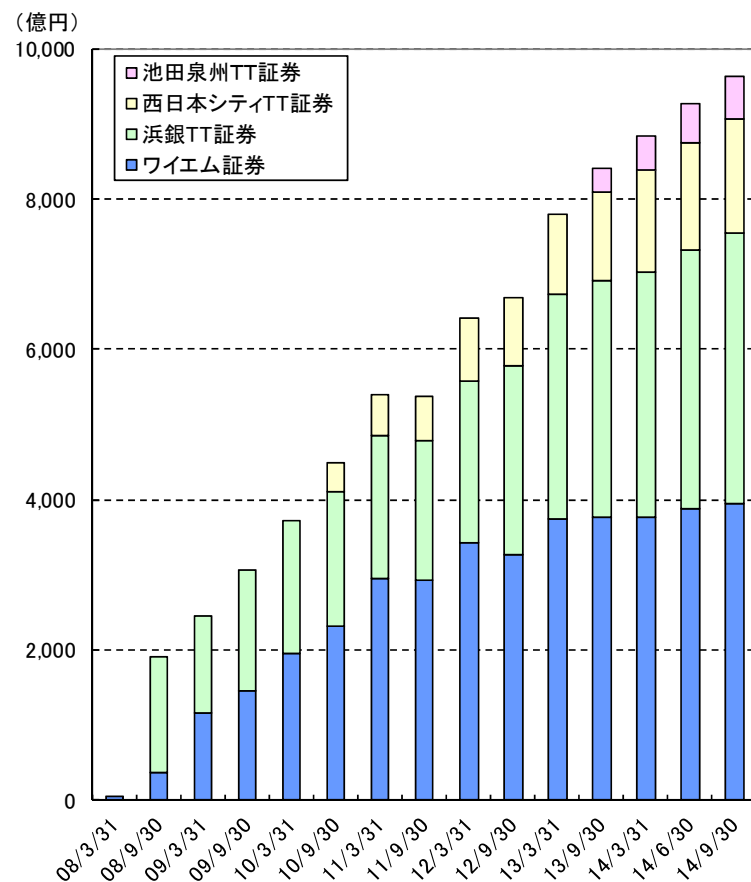
“Ambitious 5”の進捗

富裕層ビジネスの強化



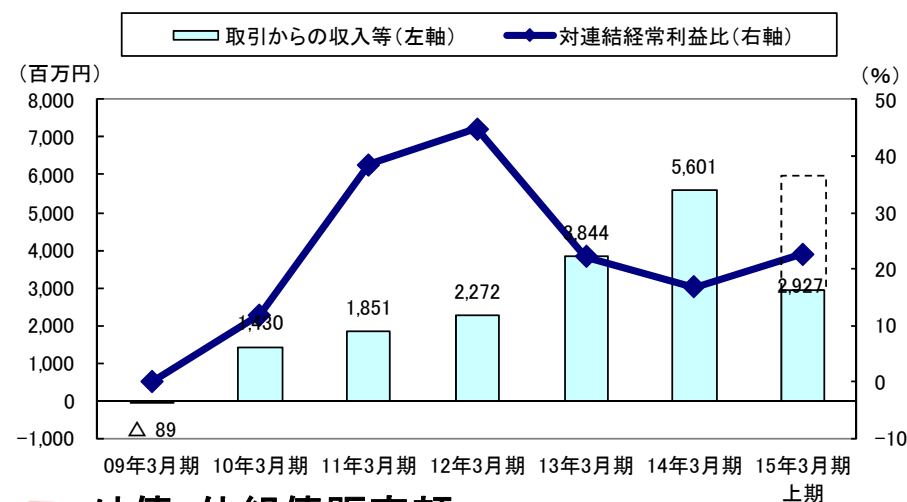
“Ambitious 5”の進捗 提携合併証券の貢献

提携合併証券の預かり資産の推移

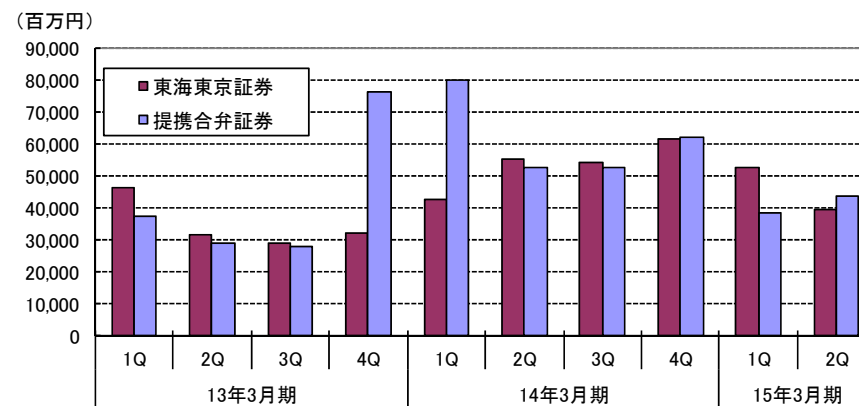


●※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

提携合併証券の連結収益への貢献



外債・仕組債販売額



“Ambitious 5”の進捗 プラットフォームビジネスの拡大

ビジネス関係のある他証券との協業グループを形成

プラットフォーム

マーケット
対応力

投資銀行
ノウハウ

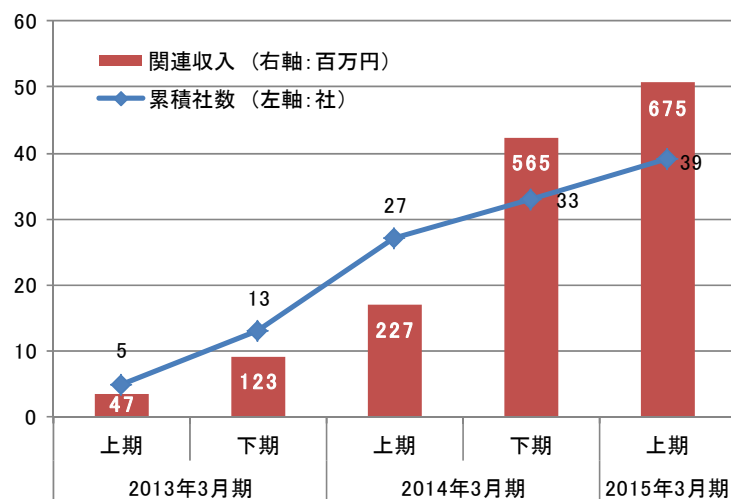
海外
ネットワーク

教育・研修

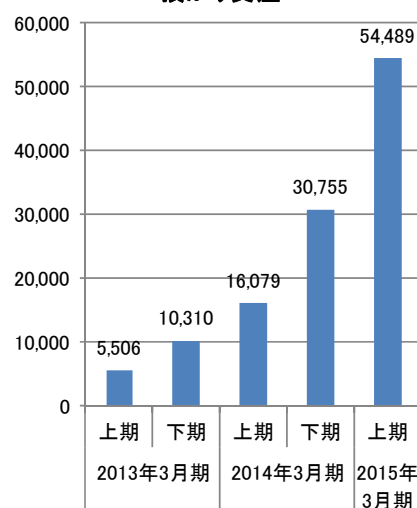
リサーチ力

IT・事務
インフラ

プラットフォームビジネス社数・関連収入



プラットフォームビジネスの
預かり資産

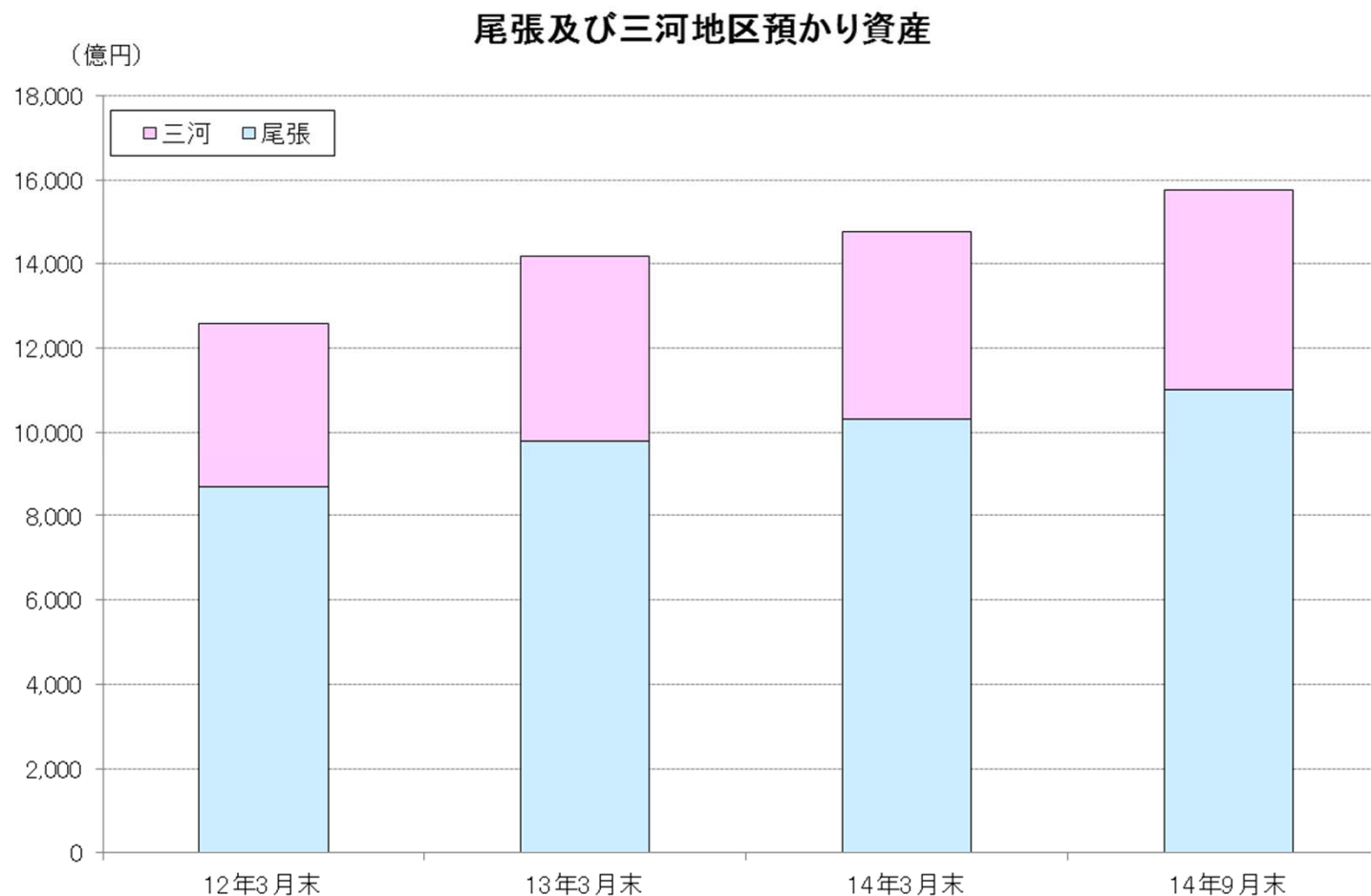


(単位: 百万円)

		外国株式 預り残高
		2014年9月末
アライアンス先 (含宇都宮)		17,792
(TTFG合計に占める割合)		16%
プラットフォーム先		40,887
(TTFG合計に占める割合)		37%
アライアンス・プラットフォーム合計		58,679
(TTFG合計に占める割合)		53%
東海東京証券		51,051
(TTFG合計に占める割合)		47%
TTFG合計		109,731

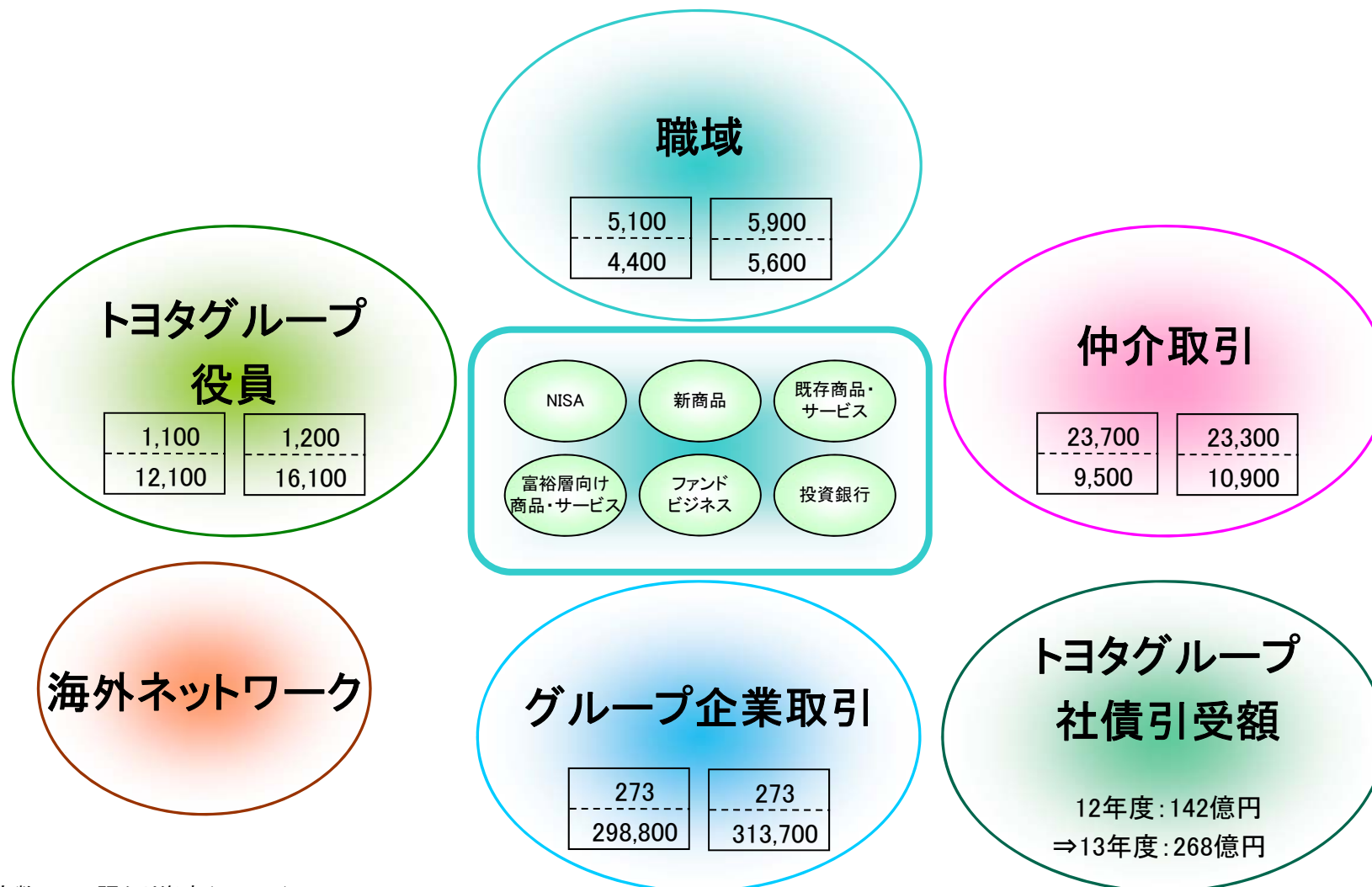
“Ambitious 5”の進捗

中部地区



※尾張: 中部第一+ウェルスマネジメント
三河: 中部第二

“Ambitious 5”の進捗 トヨタグループとのビジネス



上: 口座数 下: 預かり資産(百万円)

左: 13年3月末 右: 14年9月末

“Ambitious 5”, 2nd Stage

－大変化の時代への対応－

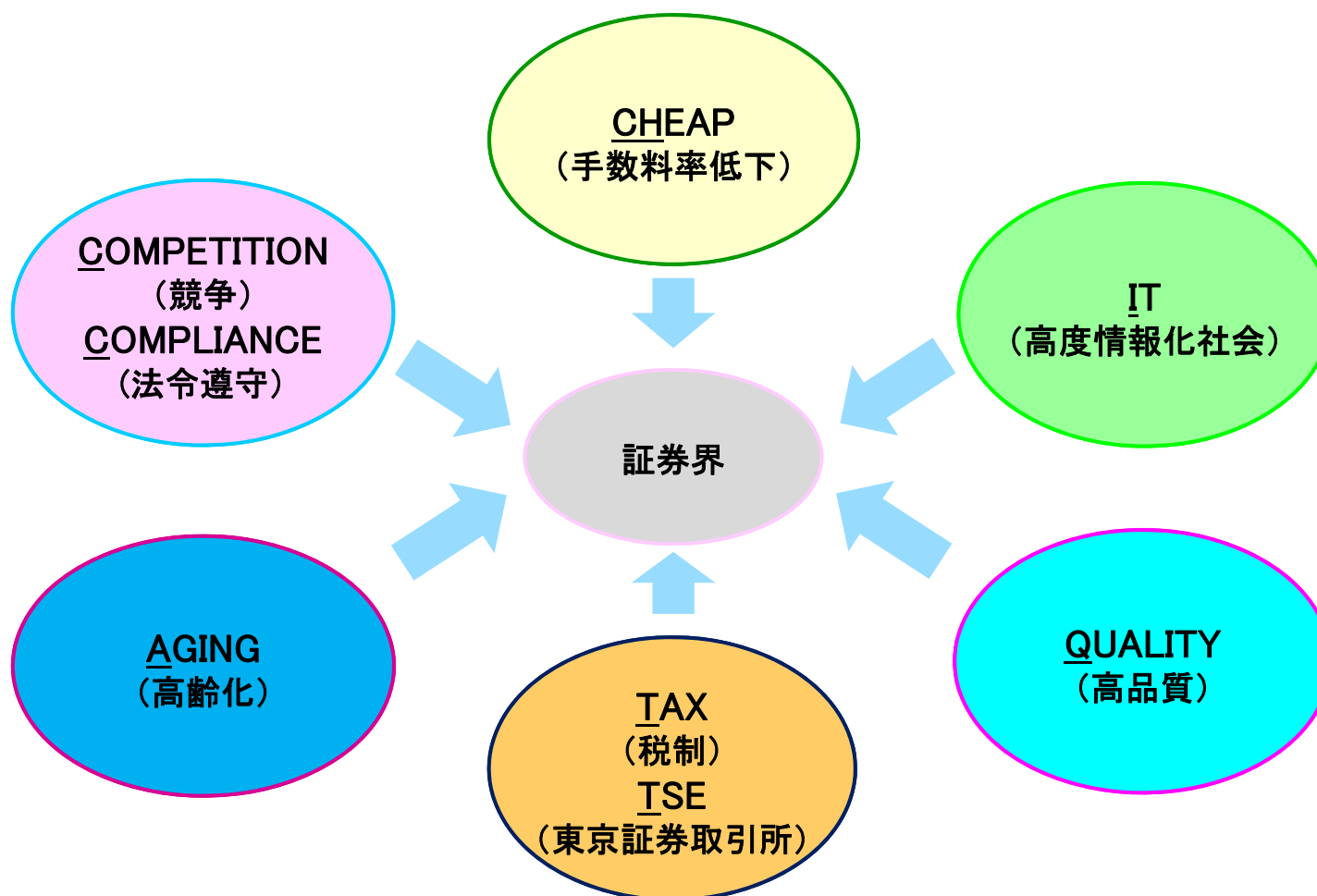
“Ambitious 5”, 2nd Stage –大変化の時代への対応– 当社が注目される3つの要因

中部という
確固たる
営業基盤

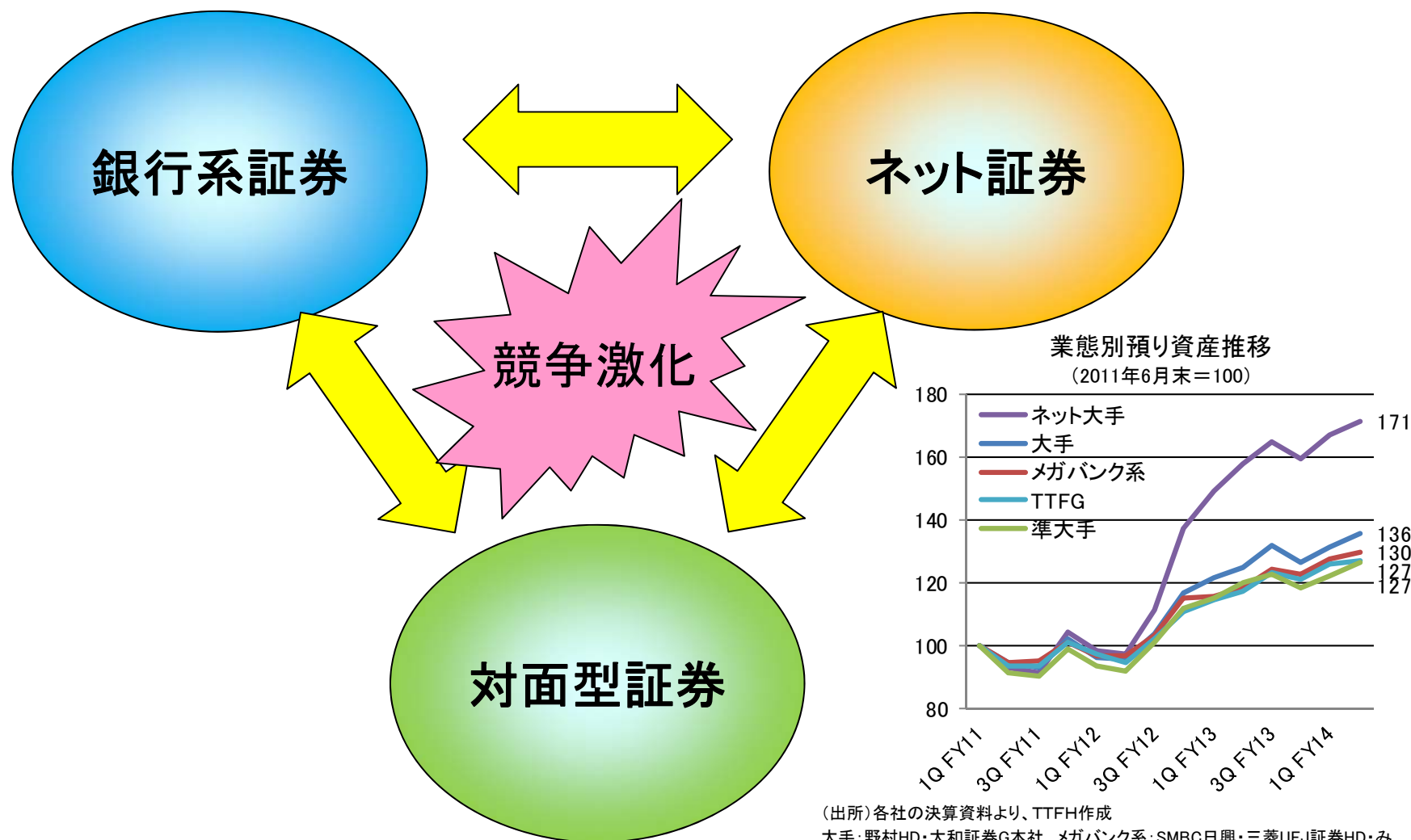
安定した業績

経営戦略の
独自性

“Ambitious 5”, 2nd Stage —大変化の時代への対応— 激変するビジネス環境 — Chiq Tac(チックタック)革命



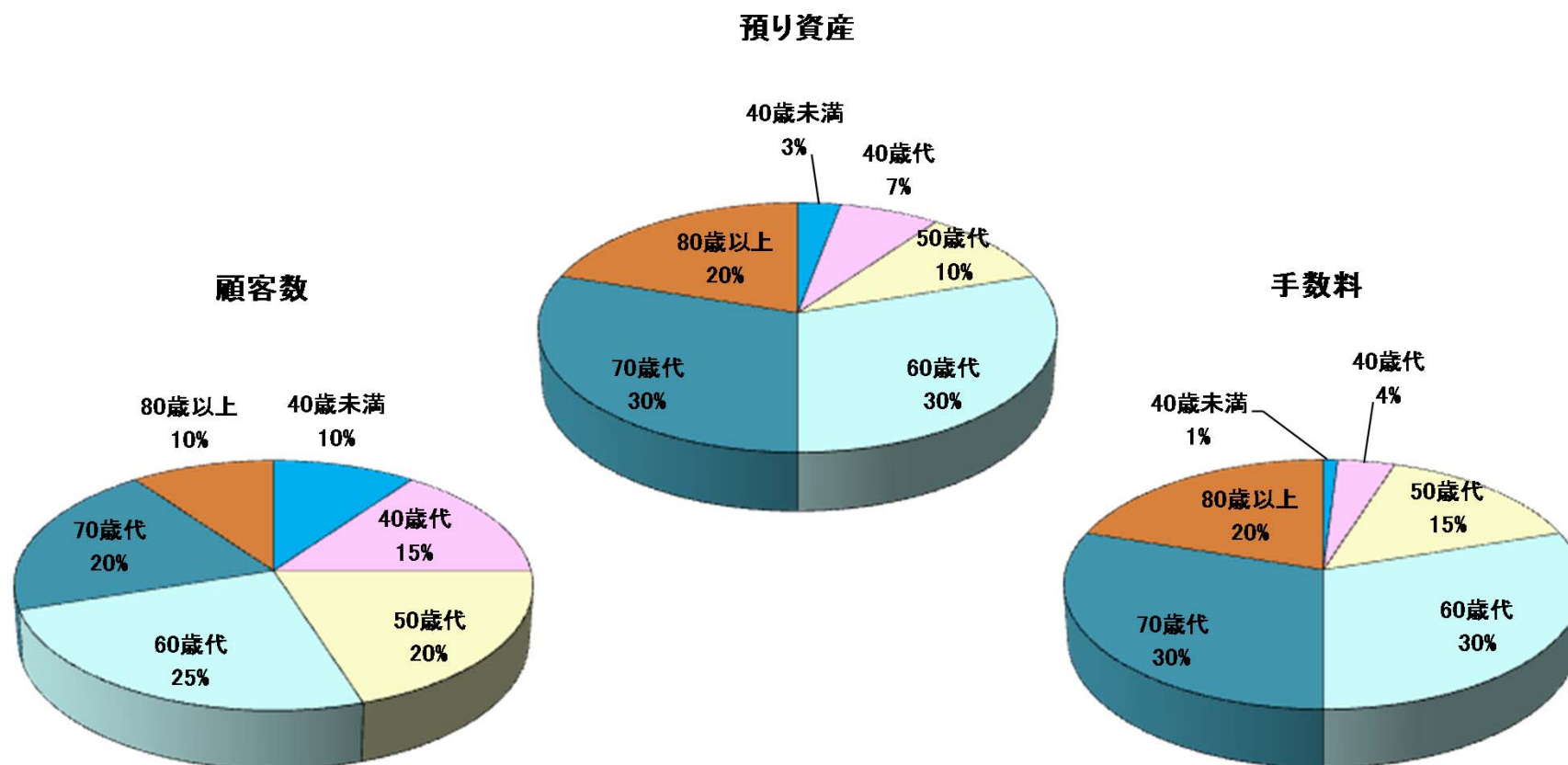
“Ambitious 5”, 2nd Stage –大変化の時代への対応– 激変するビジネス環境 – 激化する競争環境



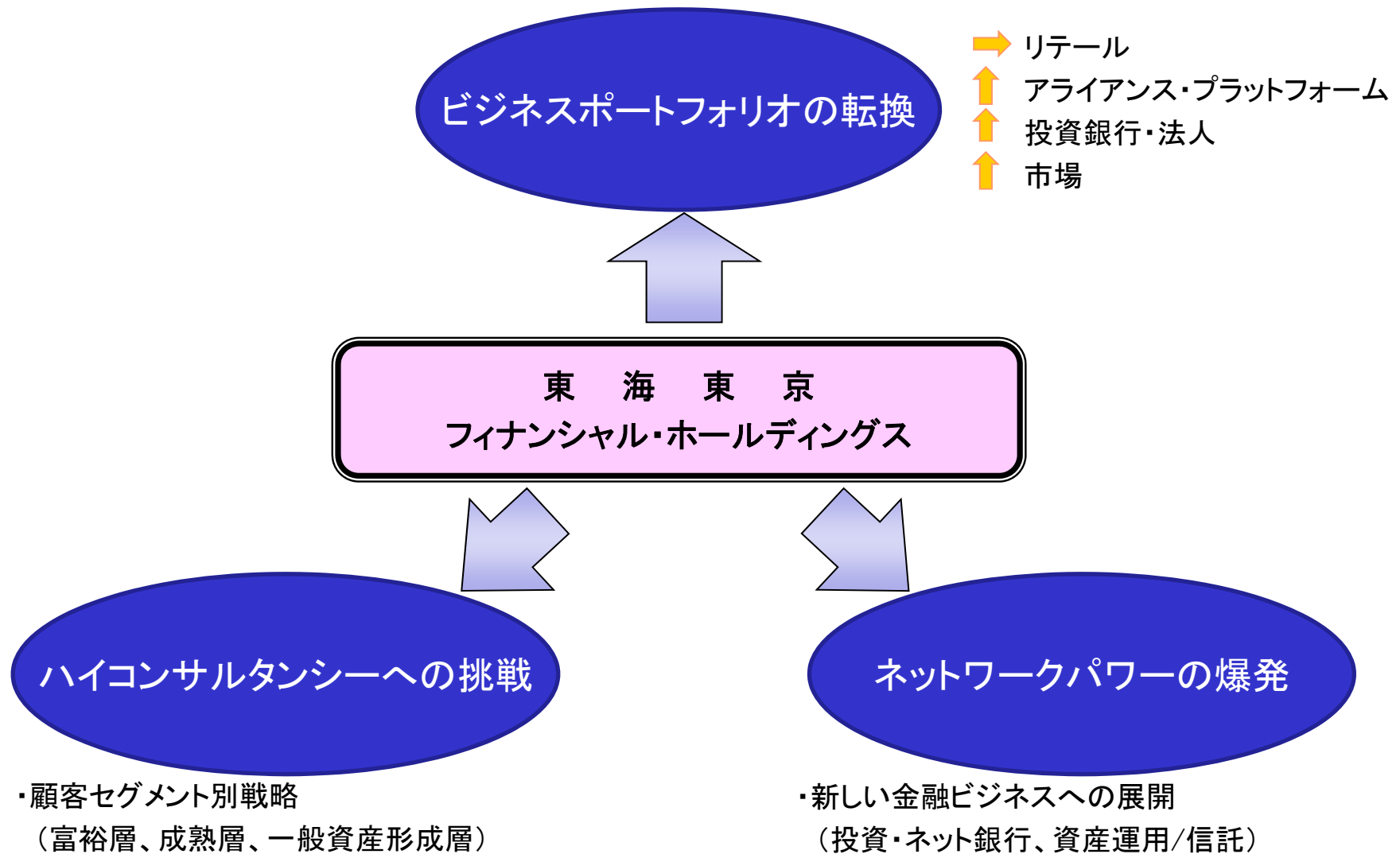
“Ambitious 5”, 2nd Stage ー大変化の時代への対応ー

激変するビジネス環境 ー 高齢化する顧客構造

証券会社の顧客のAgingの状況

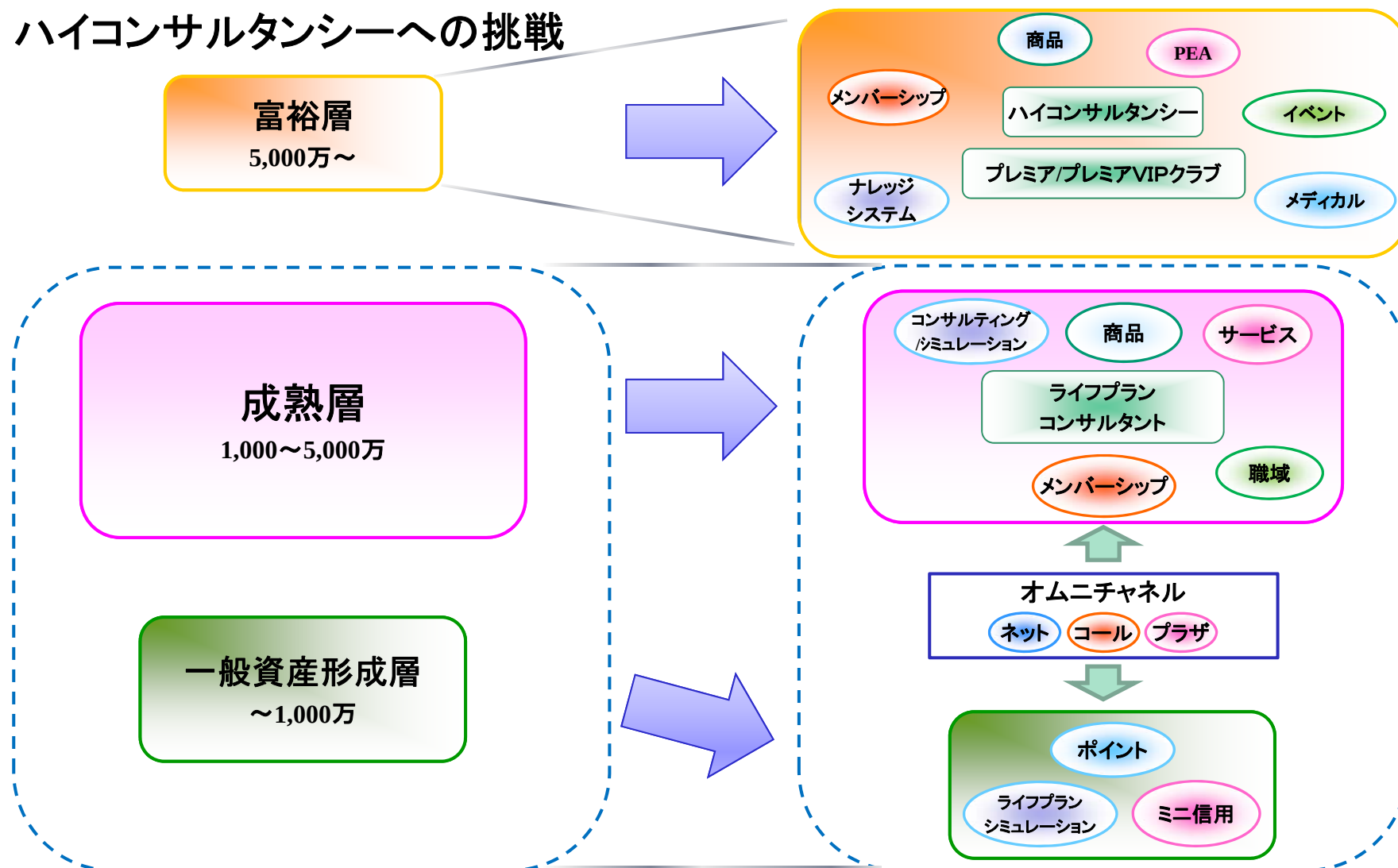


“Ambitious 5”, 2nd Stage –大変化の時代への対応– 大変化の時代と更なる成長への挑戦



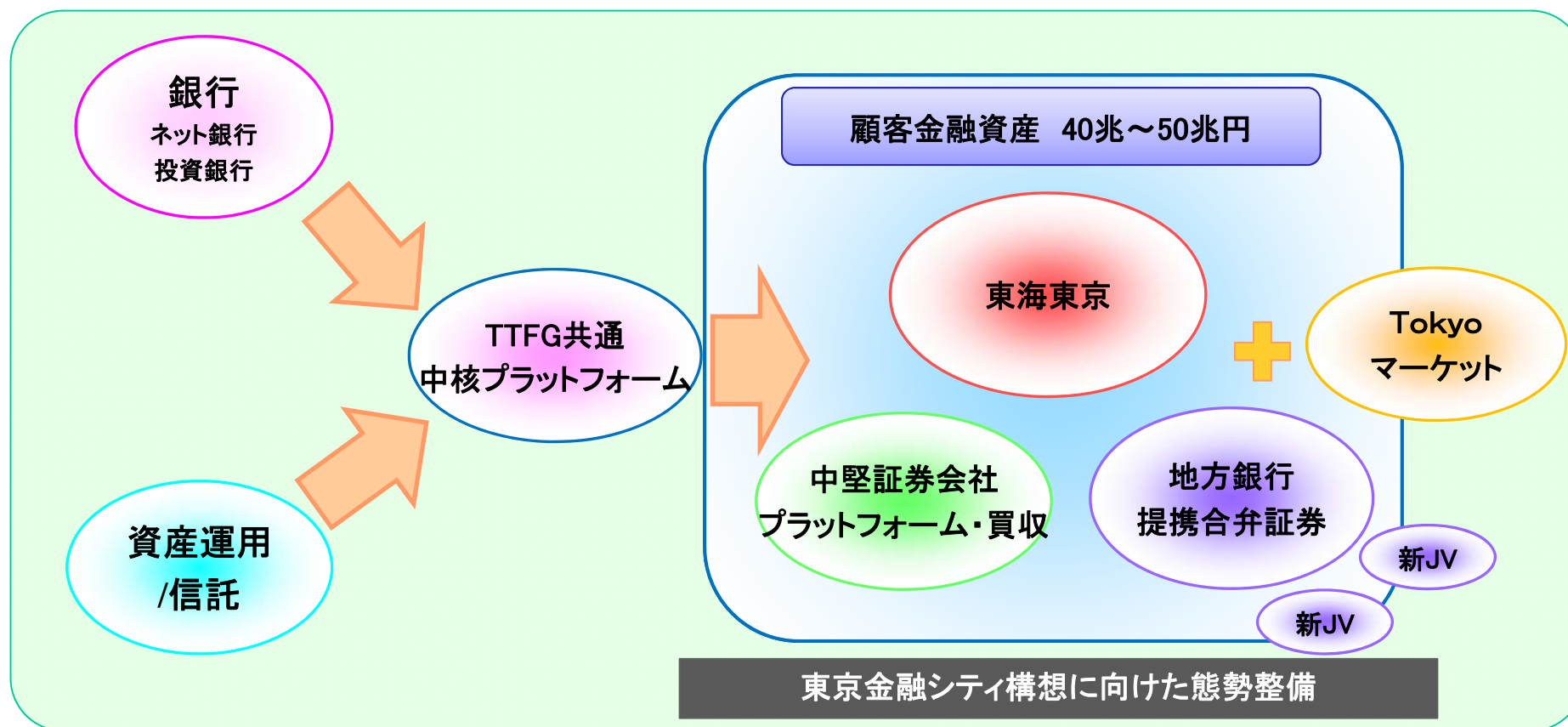
“Ambitious 5”, 2nd Stage –大変化の時代への対応– 大変化の時代と更なる成長への挑戦

ハイコンサルタンシーへの挑戦



“Ambitious 5”, 2nd Stage –大変化の時代への対応– 大変化の時代と更なる成長への挑戦

ネットワークパワーのエボリューション



新しい金融ビジネスへの展開

問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 広報・IR部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。